

ペット防災訓練の進め方と内容紹介

【はじめに】

ペットの災害対策については、一人ひとりが飼い主としての心構えを持って、普段から必要な備えをおこなうことが重要であり、ペットの災害訓練を実施することは、これらを学ぶために効果的な方法です。

しかし、具体的にどんな準備して、何をすればよいのか分からないという方が多いのではないのでしょうか。

そこで、具体的な訓練の進め方と内容をまとめましたので、今後の訓練に御活用いただき、なお一層の意識の啓発に役立てて頂ければ幸いです。

なお、用語や考え方については、「人とペットの災害対策ガイドライン（環境省）」を参考にしているので、そちらも参照してください。

また、その他、特に明記のない事項については、人の防災対策と同様に取り扱うことを前提として記載を省略しています。

【訓練の進め方】

訓練を実施する際には、地域の訓練への修練度や実情に合わせた目的を設定して、無理なく続けられるように、計画的に実施する。

1 目的の検討

訓練の開催時期や会場、目的を検討する。主催者及び会場管理者の了解を得る。（※防災訓練と一緒に実施するとより効果的）

目的の例）同行避難の周知、初動対応の確認、避難後の飼養方法の確認、しつけと健康管理の確認 など

2 計画立案

目的に合わせて、人員、予算、準備物を調整し、訓練内容を決め、計画を立案する。他の団体への協力要請や訓練の周知をおこなう。（※近隣の動物病院や動物取扱業へ周知チラシを渡すとより効果的）

3 実施

事故防止、体調の変化に気を付けながら、ペット同行者以外にも配慮する。可能であれば、ビデオや写真で記録して、訓練の振り返りに利用する。

4 点検・評価

訓練に使用した防災資機材等や会場内にフン尿が無いか点検する。参加者や協力者の要望や意見を集約する。訓練の成果を確認する。

5 是正・改善

出された要望や反省点を参考に、訓練の実施方法や近隣の組織との連携等、改善策を検討する。

6 次回訓練

改善した内容で、計画を立て次回の訓練に反映する。

以降、1～6を繰り返す。

【訓練事故の防止】

訓練参加者がけがをしないよう、次の点に気をつけましょう。

1 訓練内容の事前把握

訓練を始める前に、参加者、見学者が訓練の内容を十分に把握できるよう、資料の事前配布に努めるとともに、各訓練開始前の説明を十分に行いましょう。また、可能であれば、人とペットの動線を分けましょう。

2 訓練に適した服装と準備

訓練参加者の服装は、動きやすく、訓練に適したものにしましょう。

3 事故発生防止の措置

交通事故が発生しないよう注意し、会場内では、ペットのリードを長くしないように呼びかけましょう。また、万一、事故が発生した場合は、速やかに応急処置を行うとともに、必要に応じ救急車を要請や病院を受診するなど対応してください。

【訓練内容の工夫】

興味を持って訓練に参加できるような訓練を計画しましょう。

1 地域の特性に応じた訓練

- (1) 河川に隣接した地域・・・・・・・・洪水を想定した訓練
- (2) 海に面した地域・・・・・・・・津波を想定した訓練
- (3) 急傾斜地に隣接した地域・・・・・・・・土砂崩れを想定した訓練
- (4) 住宅密集地・・・・・・・・火災を想定した訓練
- (5) 事業所が混在した地域・・・・・・・・住民と事業所の合同訓練
- (6) 区域内全部の地域・・・・・・・・大規模地震を想定した訓練

2 参加者が興味を持てる訓練

(1) ペットの災害対策クイズ

ア ○×クイズ：グループ又は個人で勝ち残り方式

イ スタンプラリー：防災の質問に正解でスタンプ獲得

(2) 地域のイベントと同時開催する訓練

ア お祭り：同行避難用品の展示、ペットの災害対策クイズ大会等

イ 地域防災訓練：同行避難訓練、ペットの災害対策クイズ大会等

(3) 運動会の種目の一つとして行う訓練

ア クレート競争：クレートの前で「お座り」後、中に入る訓練

イ 避難所作成競走：段ボールでペット同伴避難エリアを作成する等

【各種訓練の紹介】

訓練方法の一例を紹介していますので、やってみたい訓練を探してください。訓練ごとに、目的、内容、用品、スケジュール、を記載しています。

なお、紹介する訓練はあくまで一例ですので、そのまま実施してもいいですし、内容を変更しても構いません。地域の実情に合わせて、調整して、オリジナルの訓練計画を作成しましょう。

また、訓練計画書等の様式も末尾に添付していますので、参考にしてください。

- 1 同行避難訓練
一時避難場所や指定避難所へのペット同行避難訓練及び受付訓練
- 2 係留・クレート訓練
ペットの係留やクレートに入れる訓練
- 3 健康管理訓練
ペット健康状態のチェックポイントや応急処置法を確認する訓練
- 4 避難所受入訓練
避難所への受入手順の確認やお世話方法を確認する訓練
- 5 屋外生活訓練
屋外生活や車内生活の方法や注意点を確認する訓練
- 6 防災講座
ペット防災講座やクイズ、ペット同行避難グッズの展示を行う

1 同行避難訓練

(1) 目的

ペット同行避難の普及啓発や飼い主の避難準備手順を確認します。避難所管理者の受付や管理体制を確認します。

(2) 訓練内容

ア 自宅～一時避難場所まで

(ア) 避難指示を受けて、想定災害に合わせた避難経路を通り、ペット同行避難を行う。到着したら、災害情報を確認し、避難形態を選択します。(在宅避難→帰宅します、避難所→避難所へ移動します、車中避難→帰宅もしくは車中生活訓練に移行します)

(イ) ペット避難グッズをリュック等に入れて持参します。

(ウ) 犬は、逸走対策として、首輪とリードを装着し、瓦礫等による怪我防止のために、靴下やバンテージをつけて避難します。

(エ) 猫は、キャリーバックやゲージに入れて避難します。

イ 一時避難場所～指定避難所まで

(ア) 避難者受付者名簿を記入し、管理者の指示に従って、ペット避難エリアへ移動します。

(イ) ペットを係留し、全体で避難装備の確認や避難訓練の振り返りを行う。

(3) 準備用品

各自) ペット同行避難装備

指定避難所) 避難者受付簿、筆記用具、受付所・ペット避難エリア表示

必要に応じて) 机、イス、テント

(4) タイムスケジュール (所要時間：50分)

時間	内容	担当
5分	避難装備品の準備	各自
10分	訓練 (各戸～一時避難場所)	避難誘導
10分	訓練 (一時避難場所～指定避難所)	避難誘導
25分	受付、避難装備の確認、振り返り	各自

2 係留・クレート訓練

(1) 目的

係留方法やクレートへ入れる方法を確認します。

(2) 訓練内容

(ア) 犬の係留訓練

指定避難所内の係留スペースを確認し、実際に係留します。他の犬と近づかないようにリードの長さを調整し、迷子札等を装着します。係留して、落ち着いている場合は、飼い主がその場を離れるか、姿が見えないようにして犬の様子を観察します。

(イ) 犬のクレート訓練

「人とペットの災害対策ガイドライン～一般飼い主編（環境省）」を参考に、犬がクレートへ入るように誘導します。入らない場合は、おやつや段ボールでトンネルを作り練習します。入った後は、クレートを閉めて様子を見る。クレートに犬と飼い主の名前を記入します。また、他のクレートを並べたり、持ち運びしたり、段ボールやバスタオルで目隠しして、犬の反応を観察します。

(ウ) 猫のクレート訓練（脱走しないように室内で実施）

クレートに猫と飼い主の名前を記入します。また、他のクレートを並べたり、持ち運びしたり、段ボールやバスタオルで目隠しして、猫の反応を観察します。

外が苦手な場合は、目の粗い洗濯ネットに入れると逸走防止に役立ちます。

(3) 準備用品

(ア) 係留スペースの確保、ロープ（リードが短い場合の補助に使う）

(イ・ウ) クレート、段ボール、バスタオル、ガムテープ、紙、マジック、目の粗い洗濯ネット

(4) タイムスケジュール（所要時間：45分）

時間	内容	担当
15分	犬の係留訓練	飼い主
20分	犬のクレート訓練	飼い主
10分	猫のクレート訓練	飼い主

3 健康管理訓練

(1) 目的

ペットの体調確認や応急救護方法を確認します。

(2) 訓練内容

「ペットも守ろう！防災対策 いつもいっしょにいたいから2」（環境省パンフレット）P6（ペットの健康管理と応急処置）を参考に訓練します。

(ア) 健康状態の確認

災害時は、慣れない環境にストレスを感じて、体調を崩しやすくなります。日常の健康チェックポイントを確認します。

(イ) 応急処置方法を確認

ペットの応急処置法について、応急救護用品の使用方法を確認します。

(ウ) 応急救護方法の実践

ペットが安定しているのを確認して、ペットの運び方、骨折や打撲、止血、やけど、熱中症等への応急処置を実践します。嫌がる場合や興奮している場合は、何もせずに優しい声で呼びかけて、まずは落ち着かせる。

(3) 準備用品

(アイ)「ペットも守ろう！防災対策 いつもいっしょにいたいから2」（環境省パンフレット）

(ウ) 布（大きいペット運ぶ用1枚・小さい患部止血用2枚）、包帯、水、ラップ、必要に応じて、動物のぬいぐるみ（実演用）

(4) タイムスケジュール（所要時間：50分）

時間	内容	担当
15分	健康状態の確認	飼い主
15分	応急処置方法の確認	飼い主
20分	応急処置方法の実践	飼い主

※健康管理に詳しい飼い主、しつけインストラクター、動物医療関係者に相談しながら実施すると分かりやすい。

4 避難所受入訓練

(1) 目的

避難所内におけるペット受入れ手順や飼養マナーを確認します。

(2) 訓練内容

(ア) 避難所内におけるペット受入れ手順等の確認

避難所で受付後～避難所生活に移行します手順やペット飼養マナーを確認します。飼い主間の連携、他人が気にしますペットマナーについて、確認します。

(イ) お世話方法の確認

給餌やおやつとの与え方、排泄物の片付け方法を確認します。

(3) 準備用品

(ア) 避難所におけるペット生活、ガムテープ、段ボール、紙、マジックペン、
カッター

(イ) 給餌用容器、ラップ、フード、餌、新聞紙、ビニール袋、ペットシート、
カラーコーン

(4) タイムスケジュール（所要時間：60分）

時間	内容	担当
25分	ペット受入れ手順等の確認	飼い主、施設管理
25分	お世話方法の確認	飼い主、施設管理

5 屋外生活訓練

(1) 目的

車内や屋外で生活する際の注意点を確認します。

(2) 訓練内容

(ア) 車内生活訓練

エコノミークラス症候群や熱中症への対策について確認します。

(イ) 屋外生活訓練

屋外での飼養する際の注意点や給餌方法を確認します。

(3) 準備用品

(ア) 「ペットも守ろう！いつもいっしょにいたいから」(環境省パンフレット)、クレート、給餌用容器、水、布、車

(イ) 屋外テント(軒下スペースでも可) 給餌用容器、ラップ、フード、水、クレート、リード

(4) タイムスケジュール(所要時間: 25分)

時間	内容	担当
25分	車内生活訓練	飼い主、施設管理
25分	屋外生活訓練	飼い主、施設管理

6 防災講座

(1) 目的

ペット防災知識の習得し、ペット飼育者と非飼育舎で意見交換します。

(2) 訓練内容

(ア) ペット防災講座

「人とペットの災害対策ガイドライン～一般飼い主編（環境省）」を使用して、ペット災害対策について、勉強会や意見交換会を行う。

(イ) ペット災害対策クイズ

○×クイズ：グループ又は個人で行う。

(ウ) ペット同行避難グッズの展示

ペット同行避難グッズを展示します。

(3) 準備用品

(ア) ガイドラインコピー、机、イス、筆記用具

(イ) クイズ問題

(ウ) ペット災害対策グッツ一式

(4) タイムスケジュール（所要時間：50分）

時間	内容	担当
20分	ペット防災講座	情報係
15分	ペット災害対策クイズ	情報係
5分	ペット同行避難グッズの展示	情報係
10分	意見交換	各自

(参考)

【人とペットの防災訓練実施計画書】

1	団 体 名	
2	日 時	平成 年 月 日 () : ~ :
3	場 所	
4	対 象 者	() 名) ペット () 匹)
5	想 定 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 風水害 <input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> その他	
6	訓練内容	訓練内容 (担 当) <input type="checkbox"/> 同行避難訓練 () <input type="checkbox"/> 係留・クレート訓練 () <input type="checkbox"/> 健康管理訓練 () <input type="checkbox"/> 避難所受入れ訓練 () <input type="checkbox"/> 屋外生活訓練 () <input type="checkbox"/> 防災講座訓練 () <input type="checkbox"/> その他 ()
7	訓練協力	

(記載例)

(参考)

【人とペットの防災訓練実施計画書】

1	団 体 名	〇〇町内会、〇〇の会、〇〇学校、〇〇団体
2	日 時	平成31年3月17日(日) 10:00~12:00
3	場 所	〇〇集会所、〇〇施設名、〇〇公園、〇〇学校
4	対 象 者	(会員 30名)、ペット(5 匹)
5	想 定 ■地震 □風水害 □土砂災害 □火災 □その他	
6	訓練内容	訓練内容 (担 当) ■同行避難訓練 (避難係 〇〇、〇〇) ■係留・クレート訓練 (施設係 〇〇、〇〇) □健康管理訓練 () □避難所受入れ訓練 () □屋外生活訓練 () □防災講座訓練 () □その他 ()
7	訓練協力	〇〇の会(愛護関係者)、〇〇(動物病院関係者) 消防団〇〇分団、〇〇の会

【タイムテーブル】（一例）

時 間	訓練内容
10:00	発災 訓練開始
	同行避難訓練（～10:30） 避難訓練開始（一時避難場所まで避難）（～10:15） 避難誘導係による避難誘導（指定避難所まで）（～10:30）
10:30	受付～待機場所へ移動（～10:45）
10:45	係留訓練 係留場所へ移動して係留訓練
11:00	クレート訓練 クレートを並べて中に入れる
11:30	振り返り
11:50	講評
12:00	解散

【担当者名簿】（一例）

（同行避難訓練）

	担当	備考
総括	〇〇長	
一時避難場所	避難誘導係〇〇	2名
指定避難所	施設係〇〇	2名
受付	施設係	2名

（係留訓練）

	担当	
係留場所	施設係	2名
補助	〇〇さん	

（クレート訓練）

	担当	
クレート場所	施設係	2名
アドバイザー	〇〇さん、〇〇獣医師	2名

【準備物】（一例）

	訓練種類	単位	数量	備考
1	同行避難訓練			
	非常用持出し袋	袋		各自持参
	受付簿	枚	1	
	ボールペン	本	2	
	机	台	1	
	イス	脚	3	
2	係留訓練			
	リード	本	4	借用、各自持参
	ロープ	本	2	
3	クレート訓練			
	クレート	個	2	借用、各自持参
	おやつ	個	1	各自
	ガムテープ	個	1	
	ダンボール	枚	4	
	タオル	枚	2	各自
	ブルーシート	枚	1	